

特定健康診査結果報告書

〒
岡崎市

様

2015/03/ に受診された
特定健康診査の結果です。(受付番号)

見 本

受診者コード
受診券番号
社員番号

事業所
所属部課
保険証番号
保険者番号

採血時間 空腹時

後日検査項目

他覚症状(診察) 診察医:内藤 嘉之
特記事項なし

報告書のこちらと
照らし合わせて
ご確認ください。

現病歴 特になし

既往歴 貧血

自覚症状 視力低下

● 特定健康診査項目 ※支援に該当した場合は「L」または「H」、受診勧奨に該当した場合は「LL」または「HH」が付きまます。

検査項目	単位	特定基準値		今回 2015/03/03	前回 014/03/04	前々回 2012/07/05	判定					
		支援	受診勧奨				支援	受診勧奨	医療中			
身体計測	身長	cm	---	---	161.3	162.1	161.6					
	体重	kg	---	---	45.3	47.8	50.2					
	腹囲	cm	90.0~	---	71.0	72.8	76.3					
	BMI	kg/m ²	25.0~	---	17.4	18.2	19.2					
血圧	収縮期	mmHg	130~139	140~	105	100	89					
	拡張期	mmHg	85~89	90~	71	62	54					
血糖	血糖	mg/dL	100~125	126~	89	84	89					
	HbA1c (NGSP)	%	5.6~6.4	6.5~	5.2	5.0	4.9					
	HbA1c (JDS)	%	5.2~6.0	6.1~	4.9	4.7	4.6					
脂質	中性脂肪	mg/dL	150~299	300~	45	38	45					
	HDL-cho	mg/dL	35~39	~34	105	102	84					
	LDL-cho	mg/dL	120~139	140~	109	108	95					
肝機能	AST (GOT)	U/L	31~50	51~	23	18	15					
	ALT (GPT)	U/L	31~50	51~	17	8	8					
	γ-GTP	U/L	51~100	101~	15	12	12					
尿検査	糖		---	---	(-)	(-)	(-)					
	蛋白		---	---	(-)	(-)	(-)					
生活習慣	喫煙				なし	なし	なし					
貧血 ※	赤血球	万/μL	---	---	実施なし	404	実施なし					
	血色素量	g/dL	11.1~12.0	~11.0	実施なし	12.2	実施なし					
	Hマトリット値	%	---	---	実施なし	36.4	実施なし					
心電図 ※	今回		前回		前々回		受診勧奨	医療中				
	実施なし		実施なし		実施なし							
眼底 ※	右	KW	Sheie	所見	KW	Sheie	所見	KW	Sheie	所見		
		分類	H S		分類	H S		分類	H S			
				実施なし			実施なし			実施なし		
	左			実施なし			実施なし			実施なし		

今回の特定健診の結果において、あなたは、**情報提供レベル** です。 A1-1 (23)

◆メタボリックシンドロームについての資料を参考に、今後も生活習慣(栄養、運動)に気をつけましょう。

※追加項目
貧血： 心電図： 眼底：

保健指導対象者の選定と階層化基準による判定のため、従来のものより厳しい判定となっております。

特定健康診査項目及び検査からわかること

検査項目		単位	基準値	保健指導判定値	受診勧奨判定値	この検査からわかること
身体計測	身長	cm	-	-	-	-
	体重	kg	-	-	-	-
	腹囲	cm	男性85cm未満 女性90cm未満	男性85cm以上 女性90cm以上	-	内臓脂肪型肥満の疑いの有無を調べます。内臓脂肪が過剰にたまると、体重が適正であっても心筋梗塞や脳卒中などを発症しやすくなります。
	BMI※	kg/m ²	18.5以上25未満	18.5未満または25以上	-	身長と体重から、肥満かどうかを判定します。男女とも25以上は肥満と判定されます。
血圧	収縮期	mmHg	130未満	130以上	140以上	・収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の人は、すぐに医療機関を受診しましょう。 ・望ましい血圧レベル(収縮期血圧120mmHg未満かつ拡張期血圧80mmHg未満)の人と比べて、収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上の人は約3倍、収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の人は約5倍、脳卒中や心臓病にかかりやすいことがわかっています。
	拡張期	mmHg	85未満	85以上	90以上	
血糖	血糖(空腹時)	mg/dL	100未満	100以上	126以上	血液中のブドウ糖量を測ることで、糖尿病発見の手掛かりとなります。空腹時血糖が126mg/dL以上の人は、糖尿病が強く疑われます。すぐに医療機関を受診しましょう。
	HbA1c(NGSP)	%	5.6未満	5.6以上	6.5以上	過去1～2か月の平均的な血糖コントロールの目安です。HbA1cが6.5%以上の人は、糖尿病が強く疑われます。すぐに医療機関を受診しましょう。
脂質	中性脂肪	mg/dL	150未満	150以上	300以上	・1,000mg/dL以上の人は、血液中の脂肪がとても多く、このままだと急性膵炎になる可能性があります。すぐに医療機関を受診しましょう。 ・300mg/dL以上の人は、150mg/dL未満の人と比べて2倍心臓病にかかりやすいことがわかっています。
	HDL-cho	mg/dL	40以上	40未満	35未満	肥満、喫煙、運動不足により減少します。
	LDL-cho	mg/dL	120未満	120以上	140以上	180mg/dL以上の人は、100未満の人と比べて3～4倍心筋梗塞にかかりやすいことがわかっています。すぐに医療機関を受診しましょう。
肝機能	AST(GOT)	U/L	31未満	31以上	51以上	肝機能の障害の程度を示します。内臓脂肪型肥満でALTが高い人は、脂肪肝などの肝障害が疑われます。
	ALT(GPT)	U/L	31未満	31以上	51以上	
	γ-GTP	U/L	51未満	51以上	101以上	アルコール常飲者では数値が高くなることから、アルコール肝炎発見の指標となります。

基本項目

	尿検査	糖※	-	陰性(-)	-	+以上	血糖値が高くなりすぎると尿中に糖が出るため、陽性の人は糖尿病が進行していると考えられますので、すぐに医療機関を受診しましょう。
		蛋白※	-	陰性(-)	-	++以上	陽性の人はCKD(慢性腎臓病)が強く疑われ、病状がかなり進んだ状態です。CKDの人は、そうでない人に比べて、末期腎不全により透析治療が必要な状況に10倍以上なりやすく、また、脳卒中や心血管疾患の発症やそれによる死亡の危険が2倍以上になることがわかっています。すぐに医療機関を受診しましょう。
詳細項目	貧血	赤血球※	万/ μ L	男性400以上540未満 女性360以上490未満	-	男性360未満 女性330未満	-
		血色素量	g/dL	男性13.0以上 女性12.0以上	男性13.0未満 女性12.0未満	男性12.0未満 女性11.0未満	-
		ヘマトクリット値※	%	男性38.0以上 49.0未満 女性34.0以上 44.0未満	-	35未満 31未満	-

※標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】別紙5にない項目のため、「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」(人間ドック学会)に基づく。